

令和8年度 アオコ情報（北浦 No. 1）

6月19日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、釜谷沖以北の地点でアオコレベル0相当^{※2}でした。

北浦のアオコレベル

<北浦>

- ・ 巴川沖、武田川沖、山田川沖、武井沖、釜谷沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：13～19 μg/L）でした。

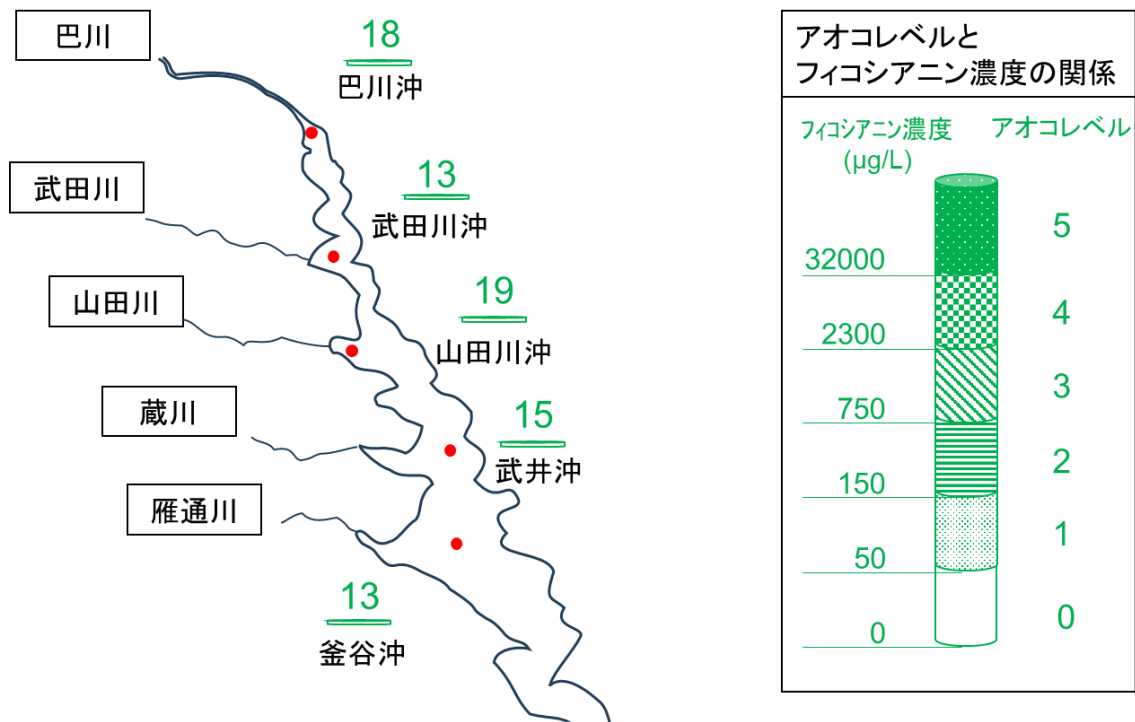


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 μg/L程度、アオコレベル2で150 μg/L程度、アオコレベル3で750 μg/L程度、アオコレベル4で2300 μg/L程度、アオコレベル5で32000 μg/L程度です（小日向ら, 2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	北 浦				
	巴川沖	武田川沖	山田川沖	武井沖	釜谷沖
採水時刻	6月19日	6月19日	6月19日	6月19日	6月19日
	10:10	10:28	10:44	10:55	11:13
水温 (°C)	25.5	26.0	25.7	26.5	25.4
pH	8.8	9.1	8.8	9.2	9.0
EC (mS/m)	27.9	26.0	31.3	54.0	33.6
透視度 (cm)	24.0	39.0	36.0	40.0	40.0
フィコシアニン (µg/L)	18	13	19	15	13
クロロフィル a (µg/L)	45	36	35	34	30

● (参考) アオコレベル (https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000042117.pdf)

